

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

和歌山県文化情報誌 ワカピー

WAKAPI

2010年
1・2月号 Vol.29

Wakayama Culture and Arts **POWER**

大和街道 早春の散歩道

わかやま浪漫街道を訪ねて

CONTENTS

アーティストメッセージ…2

和歌山県文化表彰受賞者…3

イベントガイド…4・5

わかやま浪漫街道を訪ねて…6

大好き和歌山／けんぶん舞台裏へのご招待…7

カルチャーインフォメーション…8

【丹生都比売神社】

大和街道から紀伊山地に入り標高450メートルに位置する日本全国の丹生都比売神をまつる神社の総本社。朱塗りの太鼓橋は昨春塗り替えが行われ、静かな神域に美しくたざずんでいます

artist message

アーティスト メッセージ



平成21年11月21日岡山県新見市公演より

皆さん、観にくるといいじゃ、あ～りませんか!

2月7日(日)和歌山県民文化会館大ホールで行われる「宝くじ ふるさと ワクワク劇場in わかやま」。舞台の見どころと和歌山県の方々へのメッセージを、チャーリー浜さん・中村進さんのお二人にお聞きしました。

Q 和歌山に対するイメージを教えてください。

A チャーリー浜さん
ゴメンクサイこれまたクサイ～!みんな元気かい!そうかい!そうかい!和歌の浦。チャーリー浜じゃあ～りませんか。さて私が思う和歌山のイメージと言えばやはり美味しい物が一杯思い出されます。例えば…みかんとか梅干とか…それから…それから…みかんとか梅干とか(笑)一杯思い出されます。観光では和歌山の町がどこもかしこも美しい。そして白浜の海と砂浜が綺麗でそして高野山や熊野三山等、山と森林が多く緑がイッパイと言うことで、これが本当の「クリーン」で「マリン」で「グリー

ン」じゃあ～りませんか!そんな和歌山は大好きな県の一つです

Q この舞台の見どころを教えてください。

A 中村 進さん
第三部のほのぼののコメディ劇場には、(1月16日実施の)オーディションで合格された地元のみなさんが出演されます。合格して本番の日、吉本新喜劇に出演した人達は今まで自分の中に隠されていたお笑いのセンスとエンターティナー性に気付く事が出来るでしょう。もう一人の新しい自分の誕生です。そんな地元のみなさんの元気な演技は、見たお客さんには明日への活力と、そして元気

と夢を与えてくれることは確かです。さあ一緒に吉本新喜劇でお楽しみください。

Q この舞台を楽しみにしている和歌山県のみなさんにメッセージをお願いします。

A チャーリー浜さん
和歌山から大阪のなんばグランド花月へお出掛けは大変でしょうが、今回はそのなんばグランド花月をそっくり県民文化会館へお届けにあがるわけですからきっと楽しい大爆笑の1日をお過ごし頂けることを保証いたします。では和歌山県民文化会館でお待ちしているじゃあ～りませんか!



劇作家・演出家

中村 進さん

1941年京都生まれ。関西学院大学卒業後1955年吉本興業文芸部に所属。吉本新喜劇作・演出に携わる。1994年秋田実賞受賞。現在「宝くじふるさとワクワク劇場・ほのぼののコメディ劇場」の作・演出を担当する。



吉本新喜劇

チャーリー浜さん

大阪府大阪市浪速区出身。師匠は花紀京氏。1960年に花登筐が主宰する「笑いの王国」入り。第21回(1992)上方お笑い大賞(YTV)金賞受賞。「…じゃあ～りませんか」で日本語・流行語大賞1991年度年間大賞受賞。

2/日
7

宝くじふるさとワクワク劇場 in わかやま

笑福亭仁鶴師匠やオール阪神・巨人などテレビでお馴染みの芸人によるステージや、吉本新喜劇のメンバーとオーディション(1月16日実施)で選ばれた県民の方々の共演によるステージをお楽しみください。

- 開演/午後2時
- 場所/和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料/2,000円(全席指定)

- 第1部 お笑いオンステージ 笑福亭仁鶴、オール阪神・巨人、大木こだま・ひびき 他
- 第2部 トーク「ふるさと、わが町あひのこ、このひと」 和歌山県の有名人を紹介するコーナーです。
出演:二丁拳銃&藤原真千子さん(和歌山市在住)
- 第3部 ほのぼののコメディ劇場 吉本新喜劇メンバー&和歌山県のみなさん(オーディションに合格された方)

■主催/和歌山県、(財)和歌山県文化振興財団、(財)自治総合センター ■後援/NHK和歌山放送局、(財)NHKサービスセンター



笑福亭仁鶴



オール阪神・巨人

大木
こだま
・ひびき





和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



平成20年度 和歌山県文化奨励賞



J-POPアーティスト

ウインズ 平阪佳久(ひらさか よしひさ)さん

11月29日橋本市高野口生まれ。デビュー以来地元和歌山県を拠点に活動を続ける。これまでにシングル12枚、アルバム8枚をリリース。Joshinや吉野家などのCMソングや番組テーマソングをはじめ、「和歌山LOVESONG」などで当地ソングも多く手がけ、現在テレビやラジオ番組にもレギュラー出演。和歌山県内でのライブ活動も精力的に行っている



「デビューから23年間、故郷和歌山を拠点に活動してきましたが、ずっと和歌山に対して片思いの状態でした。しかしここ数年県内の皆さんからも応援していただけるようになり、思いが通じたような気がします。辛い経験をした分、驚きとともにうれしさ100倍でした。J-POP系アーティストの受賞は今回が初めてで周りもびっくりしていましたね」とウインズ平阪佳久さん。相方の亀岡利行さんは、元タメジャー思考だったにもかかわらず「地元を離れず和歌山からヒット曲を出したい」と言う平阪さんの夢に付き合ってきました。「今回の受賞で、亀岡にも少し恩返しできるような気がします」と共に歩んできた道を振り返ります。

受賞が夢の第一歩になったウインズはさらなる目標に向かって突き進みます。「和歌山県出身だと胸を張って言えるアーティストを育てていきたいです。人気のアーティストが県内から

出れば、みんな地元で自信を持てるようになると思います。それが本当に第一歩なんです。そこからが本当の始まりだと思います」と和歌山に対する思いが人一倍強い平阪さん。和歌山音楽祭に出場した宮本恵梨菜さんや藪下正人さんなど後輩アーティストのサポートにも力を入れています。「今回もこのフェスティバルにゲストとして出演しますが、若手アーティストをバックアップするきっかけになりますし、和歌山の人同士がつながるきっかけとして夢描いた方向にちょっと動いたかなと思います」と話します。

「和歌山県は食文化や気候、歴史などすべてにおいて日本一といっても過言ではない

と思います。しかし、良いところ過ぎるがゆえに同じ県内で隣の人に負けるのが嫌だという意識も一番だと思います。良い意味での競争になるよう、同じ県内の人と協力して応援し合っていくのが大切だと考えています。“敵は外にあらず、あなたの心の中”みんなで和歌山を盛り上げていきましょう」と熱く語ってくれました。



第4回 和歌山県民俗芸能祭

県内各地域の伝統芸能7団体が集まり、民俗芸能祭を開催します。伝統芸能がもつ長い歴史とその魅力をご堪能ください。

◆出演団体

- 岡崎団七(だんしち)踊/岡崎団七踊保存会(和歌山市)
- 塩津のいな踊/塩津のいな踊保存会(海南市)
- 木ノ本の獅子舞/木ノ本獅子舞保存会(和歌山市)
- 戯瓢踊(けほんおどり)/戯瓢踊保存会(御坊市)
- 國津(くにつ)神社の三面獅子舞/國津神社三面保存会(湯浅町)
- 濱(はま)の宮權(かい)踊/濱の宮郷土芸能保存会(那智勝浦町)
- 野中(のなか)の獅子舞/近野獅子舞団(田辺市)

- ◆開催日時/1月31日(日)
- ◆開演/午後1時
- ◆場所/紀南文化会館大ホール
- ◆入場無料/要整理券(全席自由)配布中
- ◆整理券配布場所/和歌山県民文化会館、和歌山県文化遺産課、粉河ふるさとセンター、かつらぎ総合文化会館、県立橋本体育館、御坊市民文化会館、紀南文化会館、上富田文化会館、串本町文化センター
- ◆郵送による申し込み方法/往復ハガキに①「民俗芸能祭観覧希望」と明記し、②住所・氏名・希望人数(1枚あたり2人まで)を記載のうえ、下記へお申し込みください。(1月17日(日)消印有効)
- ◆お問い合わせ・郵送申し込み先
〒640-8269 和歌山市小松原通1-1
(財)和歌山県文化振興財団 民俗芸能祭 係
TEL:073-436-1331 FAX:073-436-1335

1/17

青島広志のおしゃべりクラシック Part 4

Photo.青柳聡

- 開演/午後3時
- 場所/和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料/一般2,500円、学生500円(小学生から高校生まで)

好評発売中

今年も青島広志が和歌山にやってきます。軽快なトークと今回はソリスト2人を迎えてのクラシックの演奏会です。また、演奏会終了後のサイン会(予定)には多くのファンが詰めかけます。

指揮・ナビゲーター/青島広志

- 管弦楽: 大阪シンフォニカー交響楽団
- ソリスト: 小野勉(テノール)、四方典子(ソプラノ)
- プログラム: スッペ:オペレッタ「軽騎兵」序曲 J.シュトラウスII:トリッチ・トラッチ・ポルカ ほか



1/24

けんぶんミュージックフェスティバル

- 開演/午後3時
- 場所/和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料/一般1,000円
- 出演者/事前のオーディションに合格した方(8組予定)
- 特別ゲスト/ウインズ
田頭宣和(平成20年度オリジナル部門ベストアーティスト受賞者)

様々なジャンルで活躍するアマチュアミュージシャンに発表の機会を提供するものです。審査員と来場者の投票により、ベストアーティストが選ばれます。



2/21

～和歌山県新人演奏会出演者による～

第4回 音の杜コンサート

このコンサートは、和歌山県新人演奏会出演後も演奏活動を継続され、活躍中の方々によるものです。



ピアノ: 吐前 瞬(和歌山市)



フルート: 湯川紗代(海南市)



ユーフォニアム: 藤本啓介(海南市)



ピアノ: 森下美和(和歌山市)



声楽: 久保美雪(和歌山市)

- 開演/午後2時
- 場所/和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料/一般1,000円、学生500円(全席自由)

- 第1部 吐前瞬 J.ブラームス/ピアノソナタ第3番へ短調op.5 他
湯川紗代 C.シャミナーテ/コンチェルティーノ 他
- 第2部 藤本啓介 P.スパーク/バントマイム、J.バーンズ/ヨークシャー パラード 他
森下美和 F.リスト/愛の夢 第3番、E.グラナドス/演奏会用アレグロ 他
久保美雪 G.ヴェルディ/"ああ、そは彼の人か〜花から花へ〜"オペラ「椿姫」より 他

第38回和歌山県新人演奏会

オーディション参加者募集

【応募資格】平成22年4月1日現在、年齢が20歳以上35歳以下の方で、かつ、次のいずれかに該当する方。本県の出身者、在住者、勤務者、在学学生、卒業生。ただし、一度演奏会に出演された方は応募できません。

【オーディション開催日時】平成22年5月9日(日)午後1時開始(予定)

【開催場所】和歌山県民文化会館大ホール

【参加料】無料(公開オーディション)

【演奏部門】クラシック部門(声楽・器楽・作曲・邦楽)

※各部門とも生演奏に限ります。作曲の場合は楽譜も提出してください。(返却しません) ※主催者で用意する楽器はピアノだけです。

【演奏時間】5分以内(曲のカットは任意)

※演奏時間の長短は審査の対象となりません。

平成22年7月4日(日)に開催する[第38回和歌山県新人演奏会]の出演者を募集しています。この演奏会には下記の項目に該当し平成22年5月9日(日)に開催するオーディションに合格された方に出演していただきます。

【曲目】自由 ※演奏会で演奏する曲目を含むこと。

【その他条件】有り

【結果発表】オーディション審査後、当日発表

【申し込み締め切り】平成22年4月1日(木)までに所定の様式に必要事項を記入の上、お申し込みください。

【申込先】640-8269 和歌山市小松原通1-1

(和歌山県民文化会館内)

(財)和歌山県文化振興財団 和歌山県新人演奏会係

TEL:073-436-1331

1/木
28

全3幕4場 レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」

音楽：P. チャイコフスキー 振付：M. プティパ、L. イワノフ



芸術監督：ファルフ・ルジマトフ
管弦楽：レニングラード国立歌劇場管弦楽団

- 開演/午後6時30分
- 場所/和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料/S席12,000円、A席10,000円、B席8,000円
C席6,000円、D席(学生)3,000円
D席を除き各席とも500円の学生割引有り
- 上演時間/約2時間45分
【第1幕約60分(休憩20分)第2幕約45分(休憩15分)第3幕約25分】

白鳥の湖のここが見どころ

～湖畔の場面の白鳥たちの美しさ～

1幕2場の湖畔のシーンは、クラシック・バレエの中でももっとも有名な名場面。主役の踊りはもちろんですが、白鳥に扮したチュチュ(バレエの衣裳のひとつ)をまとった姿のバレリーナたちの群舞は、幻想美に満ち溢れています。世界最高峰と絶賛されているレニングラード国立バレエのコール・ド・バレエ(群舞)が大活躍するのはこのシーン。彼女達は、動きが単に揃っているというのではなく(一糸乱れぬ動きもそれだけで感動的ですが)、全員の呼吸が合わさって、一体感をつくりあげています。温かみがあって、音楽的なコール・ド・バレエは何度みても飽きることはありません。

3/金
13劇団かかし座公演ワークショップ&
影絵劇「アラジンと魔法のランプ」

- 開演/午後2時00分
- 場所/海南市民交流センター
- 入場料金/全席自由1,000円
- 販売開始日/1月15日(金)

かかし座は、日本発の影絵の専門劇団として1952年に創立。コブクロの「蕾」のプロモーションビデオなどメディアにも多数出演しています。

今回の公演「アラジンと魔法のランプ」は影絵ならではの迫力と驚きの演出。色鮮やかなシーンさらに想像力をかきたてるシルエットの演技。これが影絵?と思われることでしょう。

※影絵あそび等のワークショップ参加者募集!!

定員：20名(事前申込必要。定員になり次第締切。入場券必要)

■お問い合わせ/〒640-8269 和歌山市小松原通1-1 (財)和歌山県文化振興財団 TEL:073-436-1331

3/金
27和歌山ゆかりの伝統芸能を巡る現地講座
道成寺へのバスツアー参加者募集!!

～道成寺 再発見～

- 時間 午前9時から午後5時(予定)雨天決行
- 目的地/道成寺(日高郡日高川町鐘巻)
- 参加料/2,000円

■内容/県民文化会館発=道成寺(絵解き説法・歌舞伎のお話)=昼食=歌舞伎に由来する道成寺周辺散策=県民文化会館で解散

■お話/小野俊成(道成寺 院代)、的場有紀(歌舞伎学会会員)

■受付日/1月18日(月)午前10時から電話で受付 定員20名
(定員になり次第締め切り)

■協力/道成寺

平成21年度きのくに舞台芸術祭支援事業

1/月・祝
11第11回ニューイヤーコンサート
藤岡幸夫& 関西フィルハーモニー管弦楽団

- 開演/午後3時
- 場所/橋本市民会館ホール
- 入場料金/
S指定席(前売)4,500円
A指定席(前売)4,000円
B指定席(前売)3,500円
(B指定席/高校生以下2,000円)
※当日券500円増し

- プログラム第一部 ロッシーニ：歌劇「ウイリアム・テル」序曲より
ビゼー：カルメン第1組曲 ほか
- 第二部 ベートーヴェン：交響曲第6番「田園」

■お問い合わせ/(財)橋本市民文化スポーツ振興公社
橋本市民会館0736-33-6108

■主催:(財)橋本市民文化スポーツ振興公社

■助成:和歌山県・(財)和歌山県文化振興財団

■協賛:(財)和歌山県市町村振興協会



わかやま浪漫街道を訪ねて

大和街道 早春の散歩道

[かつらぎ町]

和歌山県内に残る歴史街道を訪ね、
守り続けたい地元の文化遺産を
シリーズで紹介します。

問い合わせ／丹生都比売神社 Tel0736-22-0155
JR妙寺駅またはJR笠田駅から車で約15分

初桜酒造／紀の川のほとりに位置し、川上酒の伝統を受け継ぐ酒屋。母屋は大正時代の美しい景観が保持されています



利生護国寺／重要文化財の本堂は南北朝時代の再建。地元では「大寺さん」の名で親しまれています



善名称院／別称、真田庵は戦国時代最後の武将、真田昌幸・幸村父子の屋敷跡として県の史跡に指定されています



天野の御田祭／毎年1月の第3日曜に開催。丹生都比売神社楼門の下で行われ、県の無形民俗文化財に指定されている豊年万作を祈る農耕神事です。神事終了後には福引きが行われます

大和街道は和歌山城から紀の川沿いに東へ向かい伊勢に出る街道で、参詣の往来もありました。かつらぎ町からは北に背の山、南に船岡山が見え、その景色は万葉集に詠まれたほどです。盆地天野に位置し、1700年前に創建された丹生都比売神社で行われる「御田祭」の起源は古く、平安末期から似た形があり、変遷の上、江戸時代から現在の形ができたものといわれています。田作り、種まき、田植、稲刈り、収穫などの所作で演じられる農耕儀式で五穀豊穡を祈ります。

街道沿いには歴史を感じる景観が保持された建物が多く、「初桜酒造」もそのひとつ。この地域ではおいしい米と豊かな水があったので酒造りが盛んでした。昔は高野山へ馬の背に酒樽を乗せて運んだといわれています。8世紀前半、行基が開山した「利生護国寺」は、寄棟造本瓦葺で朱の柱がほどよく調和しています。ほか戦国時代の武将、真田昌幸・幸村の屋敷跡として知られている「真田庵」など、町の中にさりげない歴史が今も息づいています。

生活に広がる国際交流の輪 和歌山県国際交流センター

第4回 国際交流まつりを開催します！

～多様な文化・暮らしが詰まった「わくわく村」～

和歌山県国際交流センターでは、今年もボランティアや民間国際交流団体(NPO)の方々にご協力いただき、国際交流まつりを開催します。

昨年の「わくわく村」では、外国人の方々と交流しながら、言葉や生活文化、音楽や芸術を通じて、わくわく、ドキドキしながら異文化を体験していただきました。村内の各所で行われるワークショップに参加しスタンプを集めたり、色々な国の遊びや踊りを体験できたり、また、外国語による絵本の読み聞かせなど、楽しい催しがいっ

ぱいでした。

何だかわくわく、ドキドキしてきませんか？

「わくわく村」でたくさんの笑顔に出会えるように、子どもから大人まで楽しめるイベントを現在準備中です。お楽しみに!!

日 時：平成22年3月28日(日)

入場料：無料

場 所：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

大ホール・和歌山県国際交流センター

詳しくは、和歌山県国際交流センターまでお問い合わせください。



〒640-8319 和歌山市手平2-1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛8F
和歌山県国際交流センター
TEL:073-435-5240

開館時間／午前10時～午後6時30分

休館日／水曜日・祝日(日曜日が祝日の場合は日曜日を閉館し、翌日の月曜日を休館)、年末年始
<http://www.wak-kokusai.jp/>

大好き 和歌山



ハムレット



ローマの悲劇

エンターテインメント性に富んだ舞台を和歌山から発信 あなたもファンタジックな世界へ!

劇団ZERO

1989年に結成された「劇団ZERO」は、今年20周年の節目を迎えています。現在15歳から73歳まで幅広い年代の団員25人が和歌山県を中心に活動しています。これまで、「ハムレット」や「クレオパトラ」など、シェイクスピアシリーズの作品を公演し、今回第6弾となる「テンペスト シェイクスピア最後の傑作～嵐の日のファンタジー～」が、1月23日(土)、和歌山市民会館小ホールで行われます。

「シェイクスピアの作品は難しいというイメージがあるかも知れませんが、ミュージカルにすると、とてもおもしろい題材なんです。文学としてのシェイクスピアの作品の中で、文字では表せない部分を舞台演劇で表現しています」と代表の島田忠さん。「見た人すべてが楽しめるように、

衣装の華やかさや歌、踊りなどいろいろな要素を交え趣向を凝らしています。エンターテインメント性に富んだ楽しい舞台が魅力ですね」と話します。

また平成20年度和歌山市文化奨励賞を受賞した同劇団は、さらなる魅力の広がりを見せています。「音楽やクラシックバレエなどに比べて、演劇はなかなか舞台芸術として周知されていませんでした。20年前の結成当時は何をしているの?と思われるほどの活動でしたが、この賞をいただき、舞台芸術の一環として認められたのがうれしかったです」と島田さん。

今回の「テンペスト」は、魔法使いや怪物などキャラクターが多く、ファンタジックな作品に仕上がっています。また、同名でベートーベン作曲の「テンペスト」を、和歌山大学のエレクトーン奏者・谷口奈緒子さんが

ミュージカル風にアレンジした音楽も注目のひとつです。目でも耳でも楽しめる感動の舞台が繰り広げられます。

「ファンタジーの世界で日ごろのストレスやあかを落としてください。和歌山から発信している劇団として、和歌山の力や魅力を知ってもらいたい。普段の生活を忘れ、魔法の世界へぜひお越しください」と呼びかけています。

平成21年度和歌山県 舞台芸術活動支援事業

テンペスト

和歌山市民会館小ホール

- 1月23日(土)
- 開場/午後4時半
- 開演/午後5時半
- 入場料/2000円(当日座席指定)
※当日券は500円アップ

■問い合わせ/和歌山市民会館
TEL073-432-1212

けんぶん舞台裏へのご招待 / vol.13 柿落とし(こけらおとし)

普段は入ることができない舞台裏へ、普段聞き慣れない舞台用語を交えて皆さんをご案内します。

柿落とし(こけらおとし)とは、新しく建てられた劇場ではじめて行われる興行のことを指します。そもそも「こけら」とは、材木を削った時に出る切り屑のことであり、新築や改装の工事の最後に、屋根などの「こけら」を払い落としたことから、完成後の初めての興行を柿落としというようになりました。

県民文化会館は昭和45年(1970年)11月2日に落成式典に引き続き柿落とし公演を行い、以来、多くの県民の皆様方に親しまれてまいりました。お陰様で今秋、開館40周年を迎えることになりました。

本年もよろしく願いいたします。

※「柿(こけら)」は「木部十四画(縦樺が繋がる)」に対し、「柿(かき)」は「木部十五画(一十巾)」である。



カルチャーインフォメーション

和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

美術百科「ここはどこ」の巻

■開催中～平成22年4月11日(日)
コレクションの魅力を様々な視点から紹介するシリーズ企画「美術百科」。8回目となる今回は、作品にあらわされた場所や空間を取り上げ、「ここはどこ」という問いに答えます。



〒和歌山市吹上1-4-14 ☒JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☒月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☒一般340円、大学生230円(高校生以下、高齢者(65歳以上)、障害者の方、県内留学・就学生は無料) ☎

和歌山県立自然博物館

恐竜化石調査に参加しよう② ☎073(483)1777

■1月24日(日) 13:00～15:00

恐竜化石が発見された場所から採取した石を自然博物館内で割り、化石が含まれていないのは参加者と共に調査します。

■参加対象：中学生以上(小学生以下は保護者同伴による見学のみ)

■定員：30名 参加費：78円(傷害保険代)+入館料

■参加申込：往復ハガキに参加希望者の住所・氏名・年齢・電話番号を記入または和歌山県電子申請システム(和歌山県情報政策課に要問)

■応募締切：1月10日(日)必着 *1組1通の応募、複数応募は無効、応募者多数の場合は抽選

*本行事にて発見された化石は基本的に自然博物館の収蔵資料となります。

第4回クイズで楽しむ自然博物館!! -自然博物館検定-

■2月7日(日) 9:30～17:00

何気なく見ている展示やパネル、実は細かな楽しみや発見がいっぱいです。クイズを解きながらゆっくり展示を見てみませんか?

■参加対象：小学生以上

■用意するもの：筆記用具など

■参加申込：当日受付

*事前申込の必要はありません



〒和歌山県船尾370-1 ☒JRきのくに線海南駅からバス「琴の浦」下車すぐ ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☒月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☒一般460円 *高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料 ☎

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

スポット展「トラの郷土玩具とおもちゃ絵ー松島藤太郎コレクションからー」

■開催中～1月11日(祝・月)

2010年の干支にちなんでトラの郷土玩具を紹介します。

冬期企画展「古い道具からくらしを調べよう」

■1月19日(火)～3月22日(祝・月)

小学校中学年社会科の「昔のくらし」学習に対応した民具の展示です。ワークシートを使い、先人の知恵にふれます。



〒和歌山県岩橋1411 ☒JR和歌山駅東口からバス「紀伊風土記の丘」行き終点下車徒歩約5分 ☑午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで) ☒月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日)、12月29日～1月3日 ☒一般350円、大学生210円(10月10日～12月27日)。それ以外は、一般190円、大学生90円。高校生以下、65歳以上、県内に留学中の外国人留学生及び就学生、障害者の方は無料 ☎

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

企画展 きのくにのやきもの

■1月9日(土)～2月28日(日)



博物館で収集している「紀州の三大窯」(偕楽園焼・瑞芝焼・南紀山山焼)の作品を展示。また今回の企画展では、これらやきものをキャンパスとして描かれた、様々な絵や文様の表現にも注目し展示します。

〒和歌山県吹上1-4-14 ☒JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☑午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☒月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☒一般280円(団体220円) 大学生170円(団体140円) *高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方・外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料 *20名以上の団体割引あり ☎

万葉館

☎073(446)5553

～和歌山県歌人クラブ～ 短歌作品展「四季を詠う」

■前期：開催中～1月17日(日) 後期：1月19日(火)～3月28日(日)

*最終日は15:00まで

和歌山県歌人クラブ各会員の短歌1首を色紙・他に、自署した作品を展示します。四季の中でふと見いだした風景や、それに寄する作者それぞれの思い・表現を楽しんでください。

〒和歌山県和歌浦南3丁目1700 ☒JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「不老橋」下車徒歩約10分 ☑午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ☒無 ☒一般200円 大・高校生100円 小・中学生無料 *高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料 *20名以上の団体割引あり ☎

2/月
14

〈こどもちゃれんじ〉ファミリーシアター

しまじろうとゆうえんちへいこう!

■開演/1回目 午後0時30分、

2回目 午後3時

■場所/和歌山県民文化会館大ホール

■入場料金/全席指定1,500円

入場券残りわずか

楽しい歌や踊りと、心あたたまる感動のお話。是非ご体感ください。



【プレイガイド】

●和歌山県民文化会館 TEL073-436-1331

和歌山県民文化会館でご予約いただいたチケットは次の施設でも取扱いいたします。

○粉河ふるさとセンター TEL0736-73-3312

○県立橋本体育館 TEL0736-32-9660

○かつらぎ総合文化会館 TEL0736-22-0303

○御坊市民文化会館 TEL0738-23-4881

○紀南文化会館 TEL0739-25-3033

Wakana-P

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行日】平成22年1月

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】(財)和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山県小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp